

キリスト教の基礎知識 「クリスマス」

聖書の中のクリスマス—マタイ編

イエス・キリストの降誕をお祝いするクリスマスは今年もやってきました。聖書には二つの降誕物語が収められています。昨年この欄では、ルカの福音書による降誕物語を紹介しましたが、今年はマタイの福音書によるクリスマス・ストーリーをご紹介します。

●イエス・キリストの系図

マタイの福音書は新約聖書の冒頭にある書です。ホテルなどに置いてある新約聖書を何気なく手にとり読み始めたところ、いきなりカタカナの見慣れない人名が延々と羅列される系図が出てきて面くらひ、そのまま本を閉じてしまったという人もおられるかもしれません。この系図は、イエスの登場が歴史の真空の中、何の前触れもなく起こったのではなく、旧約聖書から始まる一貫した物語の中で理解すべきことを教えているのです。

福音書を書いたマタイは冒頭で「アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図」と記しています。アブラハムもダビデも旧約聖書の重要人物で、前者はイスラエル民族の始祖、後者はイスラエル黄金時代の王でした。ですから、この表現はイエスが神に選ばれたイスラエル民族に属しており、しかも王家の血筋を引く存在であることを示しています。そして「イエス・キリスト」とは、「キリスト（救い主）」である「イエス」という意味なのです。イエスは旧約時代から展開してきた神の救いのご計画を成就するためにお生まれになりました。

●処女懐胎

マタイ福音書の系図はヨセフという人物で終わっていますが、このヨ

セフと婚約していたのが、聖母として知られるイエスの母マリアです。マタイは二人が結婚する前に、マリアが聖霊（神の霊）によって身ごもったことを語ります。これが有名な「処女懐胎」の教えですが、同じ内容がルカの福音書にも書かれています。マタイはこの超自然的な誕生は旧約聖書の預言の成就であったと語ります。

●博士たちの礼拝

ルカの福音書では、イエスが誕生した日のできごとが描かれています。マタイの福音書では、イエスが実際にお生まれになった時の様子が詳しく描かれるわけではありません。その代わり、イエスがおそらく二歳くらいの時に起こったできごとについて記しています。それは東方の博士たちがやって来て、幼子イエスを礼拝したという物語です。



聖書で「博士」と言われているのは、おそらく占星術師のような存在だったのではないかと考えられています。彼らはユダヤ人ではない異教徒でしたが、東の方の国で天界を観察していたところ、異常な輝きを放つ星を見つけた、これは偉大な王が誕生した徴に違いないと考えて、遠くユダヤの国まで旅をしてきたのです。彼らは幼子イエスの前にひれ伏して礼拝し、贈り物を捧げました。

後のキリスト教の伝統では、この博士たちは三人であったとされていますが、聖書にはその人数は記されていません。それよりも大切なことは、イスラエルの救い主としてお生まれになったイエスを、異教徒の博士たちが礼拝したことです。このエピソードは、イエスがすべての人の救いのためにお生まれになった存在であることを表しているのです。

メリー・クリスマス！

★天文ひとくちメモ

一月一九日宵の、限りなく皆既に近い部分月食、ご覧になりましたか？ 九八%が地球の影に隠れた月、とても幻想的な光景でしたよ。

今月の注目はまず金星。二月四日に、宵の西空で最大光輝となりました。明るさはマイナス四・七等。人工の光が皆無の砂漠などでは、金星の光で影が出来るそうです。もし年末年始に夜空が暗い場所へ行く機会があれば、試す価値ありますよ。

そして夜九時頃に東の空へ昇る、おおいぬ座のシリウスもご覧ください。金星にはかなわなくとも、マイナス一・五等の輝きは、恒星として全天一位です。中国名は天狼星。確かに真っ白な輝きは狼の眼光みたいですね。

Christmas

●クリスマス礼拝 12月19日(日) 午前10時30分～正午

★クリスマスにお生まれになったキリストを共に礼拝します。聖書や讃美歌集はお貸しします。

●キャンドルサービス 12月24日(金) 午後7時～8時半

★キャンドル片手に讃美歌を歌い、聖書のことばに耳を傾けます。
※新型コロナウイルス感染状況次第では中止になる場合があります。参加をご希望の方は事前にご連絡をお願い致します。お問い合わせは、電話045-572-0857 牧師:関野祐二まで。



【おすすめキリスト教書籍紹介】 この方の愛ゆえの三浦綾子

勤務先で「マイナー」な三浦綾子さんの小説を数冊オーディオブック化しました。そのオーディオブックを30分一緒に聞いて、30分ディスカッションする新しい形のブッククラブで最初に取り上げた小説が『愛の鬼才：西村久蔵の歩んだ道』でした。小説でディスカッションがどこまで盛り上がるか、最初は不安でしたが、捉え方が十人十色で実に面白いです。

これは伝記小説です。主人公の西村久蔵は家族の不幸と深い自己吟味によってキリスト者となります。1898年生まれの彼は札幌商業高等学校の初代教師であり、札幌北一条教会の長老、また北海道で初めて庶民的な価格で洋菓子を販売したニシムラ洋菓子店の創業者でした。戦時中にも会社を倒産から守り、北海道議会議員も勤めました。そんな目ざましい功績がある久蔵ですが、この小説が焦点を当てているのは、彼の愛に満ち溢れた行動です。この本は、彼の深い愛に影響され、助けられた人々のインタビューと手紙を元にして書かれています。

招集された久蔵は誇りをもって戦争に参加しました。中国の人々にも日本人と同じように愛を表しながらも、戦争に参加したことで後に大きな罪悪感にさいなまれます。なんとかしてつぐないをしたいと思い、人生最後の働きとして江別にキリスト村を創立します。久蔵は1953年の日本基督教教会の大修養会で、キリスト者としての戦争責任について語ろうとしました。病気で結局実現しませんでした。もし実現して、これだけ早い時期に戦争責任が全国的に教会の中で議論されるようになっていたら、日本の教会の歴史が違っていたかも知れないと、個人的に思われました。

久蔵は多くの人に直接的な影響を与えただけでなく、間接的により大きな影響を後世に与えました。彼が亡くなる一年数か月前に、結核で長い闘病生活を送っていた堀田綾子という女性を見舞いましたが、後に彼女はクリスチャンになり、三浦綾子として知られる小説家になりました。この愛の鬼才、西村久蔵のキリストの愛に満ちた行動がなかったら、三浦文学は生まれなかったと言っても過言ではありません。

<定期集案内>

●主日礼拝 毎週日曜日 午前10時30分

★一週間の始まりを、まことの神礼拝から。初めての方も歓迎です。新型コロナウイルス感染防止対策に努めながら少人数での礼拝を実施しています。聖書や讃美歌集はお貸しします。参加をご希望の方は事前にご連絡をお願い致します。

●祈祷会 第2第4水曜日 午後7時30分

★新型コロナ感染拡大防止の観点から、現在は休止しています。再開の情報はホームページまたは下記の間合せ先にご確認ください。

●みことばの分かち合い 第1日曜日 礼拝後

★聖書をみんなで読み、学んだことや感想を分かち合い、深く味わう会です。お問い合わせは、電話045-572-0857 牧師:関野祐二までどうぞ。

聖書がオーディオドラマになりました！

【配役】

大和田伸也 (神)
井上 芳雄 (イエス)
南沢 奈央 (マリア)
加藤 雅也 (モーセ)
鶴見 辰吾 (ダビデ)



無料でダウンロードできる
スマホアプリ

聴くドラマ聖書

Japanese Drama Bible

Grace & Mercy
日本 G & M 文化財団



聴くドラマ聖書PC版 : <https://dramabiblejapan.org>